

令和6年 新年のごあいさつ



洞爺湖町議会議長

大西 智

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年を皆さまとお迎えできることを心よりお慶び申し上げますとともに、日頃から町議会に対しまして、深いご理解、ご指導ご協力を賜っておりますこと議員を代表しまして厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が、2類から5類へと移行したことにより、経済と人の動きが大きく変化した年となりましたが、物価の高騰や人手不足などにより国内の経済は未だに厳しい状況となっており、地方における社会活動や生活環境へも大きな影響を与えています。

当町におきましては、物価高騰に対する生活支援や事業者支援対策に取り組むとともに、地域の活性化と町のにぎわいを図るため、各種イベントなどを開催するなど、様々な取り組みの効果などにより徐々ににぎわいを取り戻しつつあると感じております。

また、今後を見据えた観光・漁業・農業・商工業への振興対策や、福祉・医療・教育など町民生活において重要な施策などを進めるため、議会といたしましても、町や関係機関・団体と連携、協力しながらそれらの推進に取り組んでまいります。

私達が住む洞爺湖町は、恵まれた自然環境と歴史文化を有する町であり、「洞爺湖有珠山ジオパーク」や、「入江・高砂貝塚」など、世界に認められた貴重な財産を後世へと残していかなければいけません。

昨年の4月に改選がありましたが、議員一同決意を新たに、委員会の活発的な活動、議会の主導的な活動に取り組み、町民皆さまの意思を町政に反映するよう努めてまいりますので、ご指導、ご鞭撻を賜われますようお願い申し上げます。

本年が皆さま方にとってより良い年となりますようお祈り申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。



洞爺湖町長

下道 英明

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より行政運営に多大なるご協力、ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行があり、洞爺湖温泉街などでは国内外の観光客が多く見られ、以前の活気を取り戻しつつあります。

役場では、洞爺湖町の誕生以来となる役場機構の改革を行い、町民に分かりやすい効率的な組織としました。町民ニーズを把握した政策実現に向け、妊娠期から子育て期のきめ細やかな子育て支援、防災力の強化、ふるさと納税、デジタル行政の形成など諸課題を迅速に解決できる体制を構築し、私の目標である「子どもから高齢者まで誰もが幸せを感じる町づくり」に向け、新たな歩みをスタートしました。

新年は、町の歴史を紡いできた交流事業やイベントが節目を迎えます。神奈川県箱根町との姉妹都市提携締結から60周年となり、記念事業を計画しています。両町の友情を育んできた先人の努力に感謝し、今後も絆を深めたいと考えています。

全国オールドボーイレースとして開催され、引き継がれた洞爺湖マラソンは50回を数えます。歴史あるマラソン大会を次世代に繋げてまいります。

また、2009年以来15年ぶりに、縄文時代の遺跡がある全国各地の自治体が集う「縄文シティサミット」も開催されます。世界遺産認定後、縄文文化の振興を進める機会として成功に全力を尽くします。

先人の方々が繋いできた「洞爺湖町」のため、次世代を担う若者たちを始め、今を生きる町民の皆さまに誇りと愛着を持って住み続けていただけるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。

迎えた輝かしい年が皆さまにとって、幸多き素晴らしい年となりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。